

ロメラレスがこの記事について考えていないなんてペペを驚かせた、そして彼（ペペ）が今回最初に（ファン ルイスを）訪れたことを喜んだ。

★ ★ ★ ★

ヘススの仕事机は資料で一杯だった。《乱雑さはいつもと同じ》だとペペは考えた。ファンルイスは一生懸命探した後、幾つかの記録を見つけた、それを秘書に頼んでコピーした。ペペは机にある手帳に注目した。ヘススはこの幾月か色々なやるべきことを抱えていた。手帳は約束で一杯だ、会議、番組、誕生日、忘れないため記録している...

ペペは彼の死を考えると悲しくなる、この会議にも行けない、友達の祝いにも行けない...しかし彼を驚かすものがあった。7月5日に下線が引いてある、そして赤字で一連の文字と数字が書かれていた。ペペには理解できなかった。一枚を引きちぎってポケットに入れた。

—どうぞ、ペペ、これで私達は全てわかるに違いない。

—有難う、ファン ルイス、もしロメラレスが来ても、私に与えてくれたこれらのものを言わないでくれたまえ。

—了解。

★ ★ ★ ★

ペペ レイは自分の事務所に到着した時これらの資料の中に手がかりを見付けることが出来ると確信した。資料に目を通し有る部分をメモした後、スシに資料を彼女に渡した、彼女の意見を聞くためである。しばらくした後には微笑をたたえながら彼女は部屋に入ってきた。